

2023年9月11日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

**100年受け継がれてきた植物標本を次世代へ、
東北大学植物標本庫の存続にむけご支援を！
400万円を目標にクラウドファンディングに挑戦**

【発表のポイント】

- ・ 2023年9月11日9時から2023年11月9日23時まで、存続の危機にある東北大学植物標本庫の維持および今後の持続的な運営体制の構築を目的とした寄附を募ります。
- ・ 標本庫の運用のためには、空調管理や防虫、耐震対策などを施し、学術的、歴史的価値の高い植物標本の品質維持を行うことに加え、数十万点にのぼる貴重な未貼付の標本を随時収蔵していく必要があります。
- ・ 第一目標の金額は400万円です。

【概要】

東北大学学術資源研究公開センター（東北大学植物園）は、東北大学植物標本庫（津田記念館）の維持資金を得るため、9月11日に「READYFOR」にてクラウドファンディングプロジェクトを公開し、400万円を第一目標に寄附募集を開始します。

ちょうど100年前の1923年に設立された東北大学植物標本庫は、東北大学植物園敷地内にある植物標本を収蔵している施設です。植物標本とは、植物の押し葉を採取時の情報とともに台紙に張り付けたもので、学術的・歴史的価値の高い資料です。当標本庫は国内外の植物標本が延べ70万点収蔵されている日本有数の植物標本庫であり、仙台市の三居沢で発見された牧野富太郎博士ゆかりの「スエコザサ」の貴重な標本も当標本庫に収蔵されています。

標本庫の運営には、空調管理や防虫対策などの既存標本の品質維持に加え、膨大な未貼付の標本を整理し、収蔵する必要があります。現標本庫の設立と運営は、本学卒業生の津田弘氏の寄附によって賄われていましたが、その寄附金が底をつき、現在運営を停止せざるを得ない状況に陥っています。今回のクラウドファンディングでは、当標本庫の維持に加え、今後の持続的な運営体制の構築費用を募ります。先人が築き上げたこの人類共通の財産を守り、

次世代に繋げるために、どうかみなさまのご支援をお願い申し上げます。

プロジェクトページ（2023年9月11日9時公開）：
https://readyfor.jp/projects/Tohoku_Botanical_Gardens



【クラウドファンディングプロジェクト概要】

プロジェクト名：100年間受け継がれてきた植物標本を次世代へ | 東北大学植物標本庫

目標金額：400万円（第一目標）

募集期間：2023年9月11日9時～2023年11月9日23時

形式：All or Nothing 型、寄附金控除型

※All or Nothing 形式は目標金額を達成した場合のみ支援金を受け取ることができます。

※本プロジェクトへのご寄附は、税制優遇の対象となります。

※ご寄附は、上記クラウドファンディングページ URL から、クレジットカード、銀行振込、コンビニ払いにて可能です。

寄付金控除型 #東北 #仙台 #社会にいいこと #子ども・教育 #環境保護 #伝統文化 #寄付金控除型 #歴史 #大学 #研究 #博物館・美術館

100年間受け継がれてきた植物標本を次世代へ | 東北大学植物標本庫

東北大学植物標本庫



寄付総額

223,000円

目標金額 4,000,000円



寄付者 残り
5人 59日

フォローする

応援コメント



また、植物園に行きたいです。

7分前

プロジェクトの寄付にすすむ

<https://readyfor.jp/projects/...>

コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます



Facebook



Twitter



LINE



note

図 1. クラウドファンディングの募集画面

クラウドファンディング資金使途と今後の展開

今回のクラウドファンディングでは、当標本庫の維持に加えて、今後持続的に運用できる体制を構築するための費用を募ります。

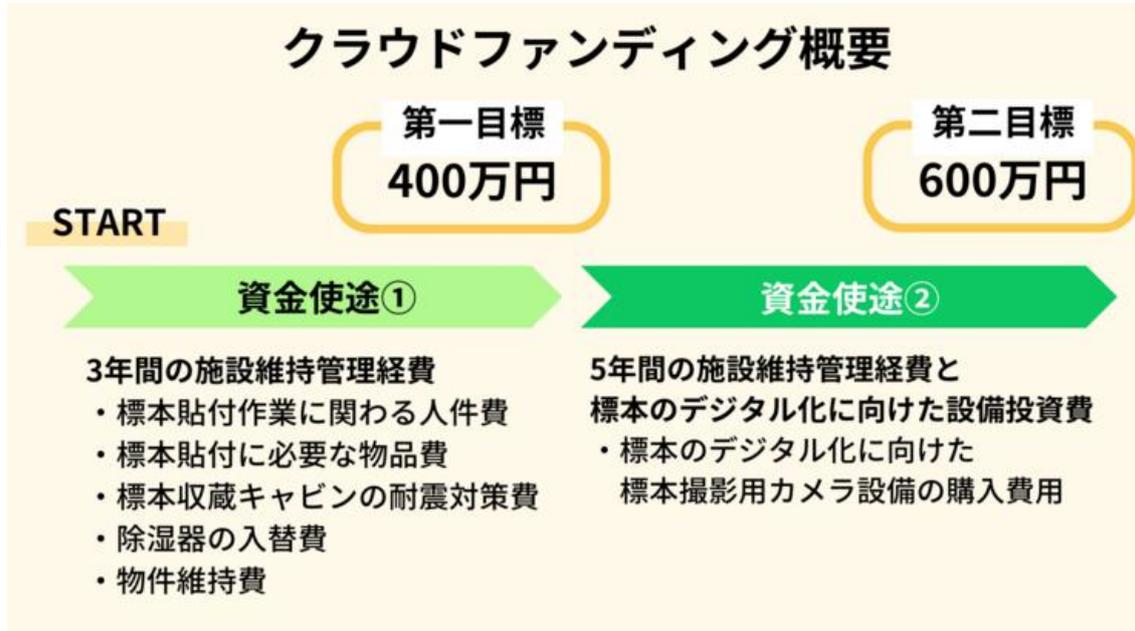


図 2. クラウドファンディングの概要と資金使途

植物標本の品質を維持するためには、一定の湿度を保つことがとても重要です。東北大学植物標本庫では現在、標本庫内に設置している除湿器の老朽化が進んでいるため、これらの一部入れ替えを検討しています。また、仙台市は定期的に大型の地震による被害を受けることが多いため、標本を保護するための耐震対策として、標本を収納しているキャビン扉に金属製ロックの導入を検討しているほか、未収納標本や新規受入標本の整理に使用する標本用台紙や貼付用具類も購入予定です。加えて、熟練した技術をもつ標本貼付スタッフの雇用を継続するとともに、標本貼付ボランティアの育成に向けた一般向け標本作成講座の開催を予定しています。熟練スタッフの技術継承を積極的に行っていくことで、より持続可能な標本庫運用の体制構築を目指します。

また、標本庫への害虫侵入リスクを可能な限り下げするため、これまでは標本の閲覧は研究利用にのみ限って公開し、一般の方への公開は控えてきましたが、今回ご支援いただいた際には、世界中の誰もが Web 上から標本を閲覧することができるよう、収納標本のデジタル化を同時に進めていく予定です。そのために、より効率的な設備として一眼レフカメラを用いた標本撮影システムの導入を検討しています。また、これまで手動入力していた標本ラベルの情報を、標本画像から OCR 抽出をおこなうことで自動入力できるように整備し、作業の簡便化と迅速化を目指します。

先人が築き上げたこの植物標本という人類共通の財産を守り、次世代に繋げていくために、どうかみなさまのご支援をお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

（プロジェクト内容および取材に関すること）
東北大学学術資源研究公開センター（植物園）
事務室

電話番号： 022-795-6760

Eメール： bg_office*grp.tohoku.ac.jp

（*を@に置き換えてください）

（ご寄附の方法などに関すること）
東北大学総務企画部 基金・校友事業室

電話番号： 022-217-6290

Eメール： kikin*grp.tohoku.ac.jp

（*を@に置き換えてください）